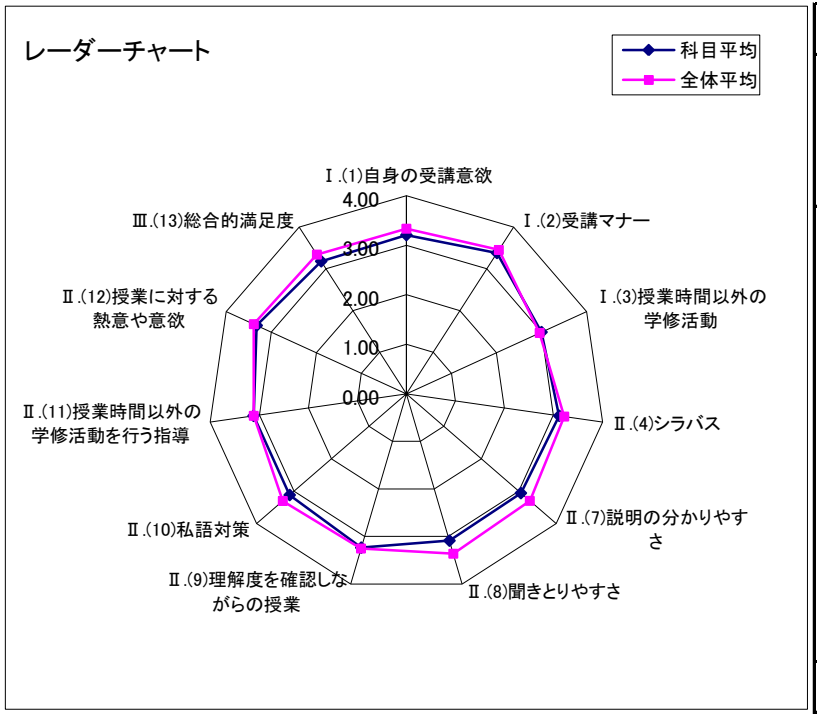
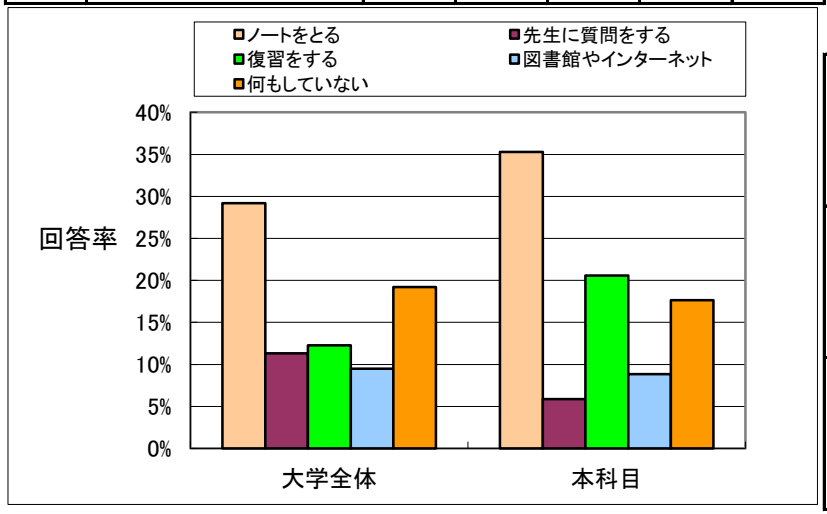
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.21	3.33
	Ⅰ.(2)	3.38	3.45
	Ⅰ.(3)	3.00	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.12	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.06	3.30
	Ⅱ.(8)	3.09	3.36
	Ⅱ.(9)	3.24	3.25
	Ⅱ.(10)	3.12	3.30
	Ⅱ.(11)	3.12	3.11
	Ⅱ.(12)	3.32	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.18	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	35.3%	5.9%	20.6%	8.8%	17.6%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.20	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.15	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.18	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	3205
科目名	日本とアジア諸国との関係を考える
教員名	

①授業計画の達成度について

授業の目標を明確にしたうえで、授業計画に従って授業運営を行なった。プリントを用いて丁寧に講義をすることに心がけ、また小テストを実施してその解説も行なっているので、学習の到達目標もほぼ達成できたのではないかと考える。ただし、設問5(学習の難易度)については、「そう思う」が本科目では14.7%と大学全体の26.7%よりも低かったものの、「ややそう思う」を加えると82.4%に達し大学全体の76.9%を上回った。これは、今日複雑・微妙な政治的問題となっている「日本とアジア諸国との関係」を授業で取り上げたことも一因であるかもしれない。

②授業の進め方について

本科目はプリントを用いて講義している。そして学生に授業に集中してもらうために、そのプリントには適宜、空白部分を設け授業中に筆記してもらっている。
今回、講義内容・方法の評価は全体平均を下回った。特に説明の分かりやすさや話の聞き取りやすさについては低かったが、これは今日政治的問題となっている「日本とアジア諸国との関係」(戦前期の日本・朝鮮関係、戦後期の日本・韓国関係、日本・中国関係)をテーマとして取り上げたので、授業ではかなり詳しく説明する必要があり、それがかえって難解・複雑な授業とさせてしまったのではないかと思われる。これらを反省材料とし、今後はさらに授業の進め方に工夫を凝らして、分かりやすい授業に努めていきたい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

本科目の評価は全体平均を下回った。この評価を念頭に置きつつ、学生に講義内容を深く理解してもらうために、プリント作成方法や板書の仕方、話し方等に気をつけて今後とも授業改善を行っていきたい。なお、授業時間については長い・早く終了したら良いという意見もあったが、適切・問題がないという意見のほうが多かったのではないかと判断している。

奈良産業大学